

# 農繁期

## レポート

令和5年 4-5月号

# 栄ファーム

オーナー  
産地  
水田面積  
保証量  
形態品種

栄運輸工業株式会社  
鳥取県日野郡日南町  
18.4アール  
玄米828kg  
特別栽培コシヒカリ



## 生産者 三上 惇二さん

今年も継続していただき、ありがとうございます。  
例年にないくらい水の豊富な春になり、順調に作業も進んで無事に田植えがおわりました。気温が30度になる日もあり暑かったですが稲の初期の成長には良い日になったと思います。

### 4月～5月の作業内容

#### 1. 土づくり

「良質米は土づくりから」と言われますが、前年の収穫が終わった秋に田を耕す「秋鋤き」を行い、土をじっくり熟成させます。今年の田植えの準備は半年以上前からスタートします。



厳しい冬に土を熟成

#### 2. 苗づくり（育苗）

種もみを消毒し、水に浸して発芽を促します。温度と水管理が非常に重要な作業となります。植えつけに最適な苗の状態は12～13cm、2.0～2.5葉期（葉が3枚弱出ている状態）です。健全な苗づくりが欠かせません。



苗箱

#### 3. 荒起こし・代かき

昨年稲を収穫した田んぼの土をひっくり返してほぐし（荒起こし）、水を入れて機械でかき混ぜて泥状態にする「代かき」を行います。この作業により雑草の発生を抑え、苗を植えやすくなることができます。



代かき（表面を平らにする）

#### 4. 田植え

通常、代かき後5～6日後を目安に田植えを行います。1株に苗を3～4本、1坪あたりに約50株を基準にして植えます。しっかりと均平が取れていると、苗の植え付け状態も良くなり高品質なお米が収穫できます。



田植え